

「生徒のために今できることを！！」

～職員室での会話から～

学年末を迎えて、職員室では生徒の単位修得や進級、進学や就職についての会話がどの学年も多くなりました。

どんなに疲れていても、教員としての使命感に溢れている本校職員の思いを紹介します。



「なんとか進級させたい」「1単位でも多くの単位を取らせたい」・・・担任の先生が必死に悩んでいる姿が見られます。一人一人の生徒のペースに合わせて、今考えられるベター（better）な方法を探して、担当の先生に課題をお願いしたり、本人に励ましのメールをしたりしている先生。学年末の成績が出て、職員室では、「〇〇さん、赤点がない。」「□□君、頑張ったんですよ。」「良かったあ。大丈夫だ。」「△△さん、本当に進学でいいのかしら。」など、一喜一憂しながら頭と心を働かせています。こんなに優しく温かく生徒を支えようとする先生たちの原動力は何でしょうか。それは、生徒をまるごと大切にしたいと思う気持ちが、疲れた心と体を突き動かしているのではないのでしょうか。

2月に実施した学校生活調査では、保護者の方から「先生方にいろいろ相談できる」「先生方が寄り添ってくれる」などのコメントをいただきました。ありがたいことです。これからも生徒のために頑張れそうです。